

推薦を受けた者又は応募した者の一覧（到着順）

氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営状況	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	推薦又は応募の理由	推薦をする者（個人）				推薦をする者（法人又は団体）					
								氏名	職業	年齢	性別	名称	目的	代表又は管理人の氏名	構成員の数	構成員たる資格その他の当該推薦をする者の性格を明らかにする事項	
中村 明子	弁護士	60	女性	昭和58年3月 平成4年4月～現在 平成18年4月～現在 平成19年12月～現在 平成20年8月～現在 平成22年5月～現在 平成22年8月～現在 平成28年10月～現在	東京大学文学部卒業 弁護士登録 石川県労働委員会 公益委員 財務省第7入札等監視委員会 委員 石川海区漁業調整委員会 公益委員 石川県男女共同参画審議会 委員 石川県環境審議会 委員 石川県土地利用審査会 委員	なし	否	これまで、3期12年間石川海区漁業調整委員に就任し、石川県の漁業の現状や課題を把握するとともに、様々な漁業調整問題や資源管理課題に接してきました。 今回の漁業法改正により、漁業許可制度の見直しや新たな資源管理ルールの導入など、漁業者を取り巻く環境が大きく変わっていくことでもあり、石川県の漁業が持続的に発展できるようにこれまでの漁業調整委員及び弁護士の経験を活かして貢献したいと考え、漁業調整委員の募集に応募するものです。	-	-	-	-	-	-	-	-	
五十嵐 誠一	-	63	男性	昭和55年3月 昭和55年4月 平成28年4月 平成29年4月 令和2年3月	水産大学校増殖学科卒業 石川県職員（水産職） 石川県水産総合センター所長 石川海区漁業調整委員会事務局次長（再任用） 石川県退職	なし	否	40年間にわたる水産行政、試験研究に係る業務経験により、漁業制度や本県の漁業の状況についてはよく理解しております。漁船漁業を主体とする石川県の漁業は、魚価の低迷、担い手不足に加えて、資源水準の低下等の課題を抱えており、総合的な資源管理型漁業の推進が必要です。これまでの知識や経験を生かし、漁業経営の安定と石川県漁業の持続的な発展に貢献したいと考え、漁業調整委員の募集に応募するものです。	-	-	-	-	-	-	-	-	
中村 浩二	石川県立自然史資料館館長	73	男性	昭和52年3月 昭和55年7月 平成7年4月～平成25年3月 平成21年4月～平成26年3月 平成25年4月～平成28年3月 平成28年4月～令和2年3月 平成16年4月～現在 平成20年8月～現在 平成21年11月～現在 平成22年5月～現在 平成26年4月～現在 平成26年4月～現在 平成28年5月～現在 平成29年4月～現在	京都大学大学院農学研究科農林生物学専攻博士課程 農学博士、京都大学 金沢大学教授 金沢大学学長補佐（社会貢献担当） 金沢大学教授特任教授 金沢大学教授客員教授 石川県環境審議会 委員 石川海区漁業調整委員会 学識経験委員 石川県森林審議会 委員 いしかわり山づくり推進協議会 委員 東アジア農業遺産学会（ERAHS） 日本代表議長 白山ユネスコエコパーク協議会 参与兼学術部会長 （一社）能登里海教育研究所 理事 石川県立自然史資料館 館長	なし	否	石川県には、里山と里海のすぐれた自然と文化の資源があります。里山は農業と林業により、里海は漁業により形成・維持されてきました。いま里山里海の重要性と普遍性は、日本だけではなく国連の生物多様性条約締約国会議や世界農業遺産会議など、世界で認められています。しかし、近年、石川県と日本各地では過疎化・高齢化により地域の存続が脅かされており、里山里海の活性化と持続発展の方策を立てることが急務になっています。 私は、これまで里山里海の生物多様性調査、子どもたちへの環境教育、住民による保全活動、次世代になる若手人材の育成に取り組んできました。平成16年に珠洲市に「能登半島・里山里海自然学校」を設立し、平成19年から平成28年まで能登里山里海マイスター養成プログラムを実施し、運営委員会研究代表を務めました。（現在はアドバイザー） 2008年からは石川海区漁業調整委員に就任し、様々な漁業調整問題や資源管理課題の解決に関わってきました。現在、漁業者を取り巻く環境が大きく変わっていく中、石川県の漁業が持続的に発展できるように、これまでの経験を活かして貢献したいと考え、漁業調整委員の募集に応募させていただきました。	-	-	-	-	-	-	-	-	
杉野 哲也	会社役員	68	男性	昭和50年3月 昭和63年7月～現在 平成20年8月～現在 平成25年10月～現在 平成26年9月～現在 平成30年6月～現在 平成31年4月～現在	成蹊大学工学部経営工学科 卒業 株式会社スギヨ 代表取締役社長就任 石川海区漁業調整委員会 学識経験委員（H24～公益代表委員） 七尾商工会議所 副会頭 石川県信用保証協会理事 一般社団法人石川県食品協会 会長 石川県労働委員会 使用者委員	なし	否	杉野氏が代表を務める株式会社スギヨは、明治初年に鮮魚問屋・定置網漁業を業として発足し、その後焼くくわの製造を始め、昭和47年にはかに風味かまぼこを開発し、平成18年には農林水産祭で天皇杯を受賞している。 氏の本県水産業への関心は強く、近年はグループ会社で地元産水産物を使用した加工品製造にも積極的に取り組まれるなど、県内外への本県水産物の販路拡大に寄与されている。 このような活動もあり、平成20年からは石川海区漁業調整委員会委員に選任され、漁業の状況も理解しており、これまでの知見や経験を生かして本県水産業の持続的な発展に貢献できると考えられることから、漁業調整委員に推薦するものである。	-	-	-	-	一般社団法人 石川県食品協会	石川県の自然・伝統・文化を保全・伝承するとともに、つねに時代の要請する新しい食文化の創造につとめるため	杉野 哲也	269	石川県内に事業所を有する食品関連企業
橋本 勝寿	漁業 司法書士	60	男性	昭和57年3月 昭和63年4月～現在 昭和63年7月～現在 平成22年4月～現在 平成31年4月～現在 令和元年6月～現在 令和元年6月～現在 令和元年6月～令和2年9月 令和2年10月～現在 令和元年6月～現在 令和元年7月～現在	法政大学法学部卒業 漁業就業 司法書士事務所開業 石川県漁業協同組合 加賀支所運営委員 石川県漁業協同組合 加賀支所運営委員長 石川県漁業協同組合 理事 石川県信用漁業協同組合連合会 理事 石川県漁業共済組合 理事 全国合同漁業共済組合 石川県事務所運営委員 石川県JF共済推進本部 運営委員 日本漁船保険組合 石川県支所運営委員長	底びき網漁業	漁業者又は漁業従事者	橋本勝寿氏は32年間底びき網漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、石川県漁業協同組合加賀支所運営委員を10年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業種の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、石川県漁業協同組合など水産団体において役員経験もあり指導力にも優れていることから、加賀地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
川島 和彦	漁業 鮮魚販売業	48	男性	平成2年3月 平成10年3月～現在 平成28年4月～現在 平成28年4月～平成31年3月 平成31年4月～現在 平成31年4月～現在	石川県立工業高等学校卒業 定置網漁業、底びき網漁業に就業 株式会社重福 代表取締役就任 石川県漁業協同組合 金沢支所運営委員 石川県漁業協同組合 金沢支所副運営委員長 石川県漁業協同組合 金沢地区漁業管理委員長	底びき網漁業等	漁業者又は漁業従事者	川島和彦氏は22年間底びき網漁業、定置漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、石川県漁業協同組合加賀支所運営委員を4年間務め、平成31年からは地区の漁業管理委員長にも就任し、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業種の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ指導力にも優れていることから、金沢地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
稲村 幸雄	漁業	72	男性	昭和42年3月 昭和54年11月～平成23年4月 昭和57年2月～現在 平成15年3月～平成18年8月 平成18年9月～現在 平成18年9月～現在 平成19年6月～現在 平成18年6月～令和2年9月 令和2年10月～現在 平成18年6月～現在 平成18年6月～平成29年3月 平成29年4月～現在	石川県立羽咋工業高等学校卒業 志賀町議会議員（H12-14議長） 定置網漁業就業（平成20年6月 榑百浦漁業 設立） 志賀町漁業協同組合 代表理事組合長 石川県漁業協同組合 志賀支所運営委員長 石川県漁業協同組合 理事（H25-R1代表監事） 石川県信用漁業協同組合連合会 理事 （H22-25監事、H25-R1副会長、R1-会長） 石川県漁業共済組合理事（H22-R1監事、H26-H28代表監事） 全国合同漁業共済組合 石川県事務所運営委員 石川県JF共済推進本部運営委員（H22-R1監査委員、H26-R1代表） 石川県漁船保険組合 理事（H22-H29監事、H25-H28代表監事） 日本漁船保険組合 石川県支所運営委員	定置漁業	漁業者又は漁業従事者	稲村幸雄氏は38年間定置漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、志賀町議会議員を32年間、石川県漁業協同組合加賀支所運営委員を14年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業種の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、石川県漁業協同組合など水産団体において役員経験もあり指導力にも優れていることから、志賀地区を代表する存在といえます。以上のことから石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民

推薦を受けた者又は応募した者の一覧（到着順）

氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営状況	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	推薦又は応募の理由	推薦をする者（個人）				推薦をする者（法人又は団体）				
								氏名	職業	年齢	性別	名称	目的	代表又は管理人の氏名	構成員の数	構成員たる資格その他の当該推薦をする者の性格を明らかにする事項
小川 英樹	漁業	61	男性	昭和53年3月 昭和53年4月～現在 平成4年3月～平成18年8月 平成16年11月～現在 平成18年9月～現在 平成28年8月～現在	石川県立水産高等学校卒業 漁業就業 西海漁業協同組合理事 有限会社大興丸水産代表取締役 石川県漁業協同組合 西海支所運営委員 石川海区漁業調整委員会委員	まき網漁業等	漁業者又は漁業従事者 小川英樹氏は4年間底びき網、まき網漁業などに従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、西海地区の合併前の漁協の理事を14年、石川県漁協西海支所運営委員を14年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業権の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、指導力にも優れていることから、西海地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
坂下 優	漁業	72	男性	昭和39年3月 昭和39年4月～現在 昭和46年1月～昭和54年12月 昭和62年3月～平成18年8月 平成18年9月～現在	輪島市立上野台中学校卒業 漁業就業 輪島地区漁協青年部長 輪島市漁業協同組合理事 石川県漁業協同組合 輪島支所運営委員	定置漁業等	漁業者又は漁業従事者 坂下優氏は56年間べにずいがいにかご漁業や定置漁業などに従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、輪島地区の合併前の漁協の理事を20年、合併後の石川県漁協輪島支所運営委員を14年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業権の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、指導力にも優れていることから、輪島地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
笹波 守勝	漁業	55	男性	昭和59年3月 昭和59年4月～現在 平成14年1月～平成19年12月 平成29年4月～現在	石川県立輪島実業高等学校卒業 漁業就業 輪島市底曳網組合役員 石川県底曳網漁業組合役員	定置漁業等	漁業者又は漁業従事者 笹波守勝氏は36年間底びき網漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、珠洲地区の底曳網組合の役員、県底曳網組合の役員に就任して、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、指導力にも優れていることから、輪島地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
新谷 栄作	漁業	70	男性	昭和40年3月 昭和40年4月～現在 平成3年4月～平成27年4月 平成8年8月～平成20年8月 平成18年3月～同年8月 平成18年9月～現在 平成18年6月～現在 平成18年6月～令和2年9月 令和2年10月～現在 平成18年6月～現在 平成18年6月～平成29年3月 平成25年7月～平成31年3月 平成28年8月～現在 平成29年4月～現在 平成31年4月～令和元年7月	珠洲市立蛸島中学校卒業 漁業就業 珠洲市議会議員(H20-21議長) 石川海区漁業調整委員会 漁民委員 すずし漁業協同組合 代表理事組合長 石川県漁業協同組合 理事(すず支所運営委員長) 石川県信用漁業協同組合連合会 理事 石川県漁業共済組合 理事(H22-25、H28-R1組合長) 全国合同漁業共済組合 石川県事務所運営委員 石川県JF共済推進本部 運営委員(H22-25会長) 石川県漁船保険組合 理事(H18-22副組合長、H26-28組合長) 石川県漁業信用基金協会 理事(H25-29理事長) 石川海区漁業調整委員会 漁民委員 日本漁船保険組合 石川県支所運営委員 全国漁業信用基金協会 石川支所運営委員	底びき網漁業	漁業者又は漁業従事者 新谷栄作氏は55年間底びき網漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、珠洲市議会議員を24年間、石川県漁協すず支所運営委員を14年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業権の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、指導力にも優れていることから、すず地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
太田 均	漁業	63	男性	昭和47年3月 昭和47年3月～現在 平成29年1月～現在 平成31年4月～現在	内浦町立小木中学校卒業 漁業就業 小木小型組合組合長 石川県漁業協同組合 小木支所運営委員	一本釣り漁業等	漁業者又は漁業従事者 太田均氏は48年間一本釣りやはえ縄漁業などに従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、小木地区の小型漁船漁業者の代表や県漁協小木支所運営委員を務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業権の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、指導力にも優れていることから、小木地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
中 浩二	漁業	55	男性	昭和59年3月 昭和59年4月～平成7年3月 平成7年3月～平成18年2月 平成18年3月～現在 平成25年4月～平成28年3月 平成28年4月～現在	石川県立錦丘高校卒業 (有)ブチ (株)福岡小型陸運 (有)中漁業部 石川県漁業協同組合 能都支所運営委員 石川県漁業協同組合 能都支所副運営委員長	定置漁業	漁業者又は漁業従事者 中浩二氏は14年間定置漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、石川県漁協能都支所運営委員を7年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業権の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、指導力にも優れていることから、能都地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
角屋 敏彦	漁業	68	男性	昭和44年3月 昭和44年4月～昭和46年6月 昭和46年7月 昭和50年6月 昭和50年7月～現在 平成22年4月～現在	石川県立七尾農業高等学校卒業 家業の定置漁業に従事 鯉目漁業協同組合就職 同組合退職 家業の定置漁業に従事 現在に至る 石川県漁業協同組合 ななか支所運営委員	定置漁業	漁業者又は漁業従事者 角屋敏彦氏は47年間定置漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、石川県漁協ななか支所運営委員を10年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業権の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、指導力にも優れていることから、ななか地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民
勝木 省司	漁業	67	男性	昭和50年3月 昭和50年4月～現在 平成12年8月～平成20年8月 平成14年5月～平成18年8月 平成18年9月～現在 平成19年6月～平成25年6月 平成28年6月～令和元年6月 平成22年9月～現在 平成24年8月～現在 平成25年6月～令和2年9月 令和2年10月～現在 平成25年6月～現在 令和元年6月～現在	金沢経済大学卒業 漁業就業 石川海区漁業調整委員会 漁民代表委員 佐々波漁業協同組合 代表理事組合長 石川県漁業協同組合 佐々波支所運営委員長 石川県漁業協同組合 監事(H19-22代表監事) 石川県漁業協同組合 理事 石川県海面利用協議会委員 石川海区漁業調整委員会 学識経験委員 石川県漁業共済組合 理事 全国合同漁業共済組合 石川県事務所運営委員 石川県JF共済推進本部 運営委員 日本漁船保険組合 石川県支所運営委員	定置漁業	漁業者又は漁業従事者 勝木省司氏は45年間定置漁業に従事しており石川海区の漁業の状況はよく理解しています。また、石川県漁協佐々波支所運営委員長を14年間務め、地元における組合員間の漁業の調整や共同漁業権の管理、資源管理型漁業の推進などに積極的に取り組まれ、石川県漁業協同組合など水産団体において役員経験もあり指導力にも優れていることから、佐々波地区を代表する存在といえます。以上のことから、石川海区の漁業調整委員に推薦するものです。	-	-	-	-	石川県漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高める	笹原 丈光	7,312	漁業を営み又はこれに従事する漁民